

令和7年度 学校経営方針

○東通学園校訓

『日進』 『感謝』

○東通村教育委員会指導の方針

『個を生かし、生きる力と夢をはぐくむ、こ小中一貫教育の中で、「学び」と「育ち」をつなげ、すべての子どもの「学ぶ力」、「育つ力」の向上を図る』

○東通教育委員会指導の重点

(1) 学びをつなぐ

- ・確かな学力の育成
- ・自立した社会創造の担い手の育成
- ・実践的コミュニケーション能力の育成

(2) 育ちをつなぐ

- ・東通村こ小中一貫教育推進協議会の取組の焦点化と活動の充実
- ・こども園と小学校、小学校と中学校の円滑な接続の充実に向けた取組の実施と改善

1 教育目標

知性を磨き 豊かな心を育み 自主自立を目指す生徒の育成

2 努力目標

進んで学習し 課題解決できる生徒
互いに思いやり 明るく生活できる生徒
心身を鍛え ねばり強く取り組むことができる生徒

3 学校経営の方針と重点

『生徒が成長を実感し 教職員も達成感を感じることができる学校』

(1) 目指す学校像（基本的な考え方）

本村は約300平方キロメートルという広大な面積の中に29の集落が存在している村であり、地域の唯一の中学校である東通中学校は、地域の期待を一身に背負っている中学校でもある。部活動支援員等の地域の人材の活用やコミュニティスクール、地域学校共同活動等の行政の支援を受けながら、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を地域と共有し、社会に開かれた教育課程を実現を目指したいと思う。

また、「よりよい学校はよりよい教職員集団が創る」という理念の下、新しい

時代を主体的に切り拓く生徒を育成するために、まずは、本校の生徒に身につけさせるべき資質や能力を明らかにして共有し、教職員がベクトルをそろえて取り組むことが大切だと考える。その上ですべての教職員の手によるグランドデザインを策定し、短いスパンでのPDCAサイクルを確立して、地域や社会に貢献できる生徒を育成したい。

(2) 目指す生徒像

言える、動ける、響き合う生徒

- 具体的な目的・目標・見通しを持ち、視野を広げて活動できる生徒
- 自分がどのように考え、何が分かったか自覚し、伝えることができる生徒
- 培った力を生かしながら、より良いものをつくり出す生徒

(3) 本校の教育課題

○確かな学力の向上

- ・知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力の育成。

○生徒指導の充実

- ・社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達できる自己指導能力の育成。

○キャリア教育の充実

- ・グローバル社会で活躍できる「持続可能な社会の創り手」の育成。

(4) 今年度の重点

①確かな学力の向上

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と指導計画等を整備する。
- ・単元や1時間ごとの課題を明確にし、生徒に見通しを持たせ、わかりやすく丁寧な授業を実践する。
- ・学習の仕方の指導や自分のための勉強である意識を高揚させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ・朝自習の時間や学習ツールなどを効果的に活用して、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。

②生徒指導の充実

- ・いじめや不登校、問題行動などの課題の早期発見、早期対応に努める。
- ・生活アンケートや日々の生徒観察等により生徒理解を深め、教育相談活動を充実・強化させる。
- ・集団に個が没しないように自己存在感や自己有用感を実感できる学校行事を工夫し、学級経営を充実させる。
- ・一人ひとりの個性やよさの発見や可能性の伸張、社会的資質・能力を育む教育活動を推進する。

③キャリア教育の充実

- ・国際理解教育や様々な体験活動を充実させ、基礎的・汎用的能力を育成する。
- ・職場体験や自分の意見を伝える活動を充実させ、興味・関心等に基づく勤労観、職業観を形成して、「人間関係形成・社会形成能力」や「キャリアプランニング能力」を育成する。
- ・総合的な学習の時間を活用し、自ら課題を見つけ、考え、仲間とともに課題を解決できる「課題対応能力」を育成する。
- ・自分にできることやしたいこと等、自分自身の可能性の肯定的な理解に基づいた「自己理解・自己管理能力」を育成する。

④豊かな心の育成

- ・道徳推進教師を中心として、全教職員の共通理解による組織的・計画的な道徳教育を充実させる。
- ・生徒の発達段階や実態等に基づいた明確な指導目標や学校や各学年での重点内容項目設定する。
- ・道徳の授業を中心に、思いやりの心や多様性を受け入れられる柔軟な考え方を育成する。
- ・学校行事を中心としたさまざまな体験を通して、自己有用感や達成感をもたせると共に、自己並びに他者理解を深めるさせる。

⑤保健・体育・健康教育の充実

- ・保護者や地域と連携した望ましい生活習慣の育成をとおして、自己管理や自律意識を高揚させる
- ・身体的な安全を保障できるように常に配慮をして物的環境を整え、安全な教育活動を推進する。
- ・生徒と生徒、生徒と教員が温かい関係を築けるような人的環境を整え、安心できる学校生活を展開する。
- ・情報モラルや感染症予防等の知識の習得や交通安全、防災等を意識向上させる。
- ・教育委員会との連携により、部活動のスムーズな地域移行を促進する。

⑥社会に関かれた学校の推進

- ・地域社会と子どもたちに必要な資質・能力を共有し、連携・協働する「社会に関かれた教育課程」を実現する。
- ・PTA活動の在り方や活動内容を見直すとともに、保護者や地域のニーズや実態を把握して教育活動を展開する。
- ・コミュニティスクールの活性化や地域学校協働活動を活用し、より一層社会に関かれた学校を推進する。